



『資源循環に係る協定』を締結し、 小平市におけるペットボトル回収・リサイクルを促進！

～7月30日（木）より市内のセブン-イレブン19店舗にて回収機の稼働を開始～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長：永松 文彦）は、限りある資源の有効な活用とプラスチック対策を目的としたペットボトル回収事業を実施するため、東京都小平市と『資源循環に係る協定』を締結し^{※1}、小平市内のセブン-イレブン19店舗に「ペットボトル回収機」を新たに設置することで、ボトル to ボトル^{※2}によるプラスチックのリサイクルを促進してまいります。

今回、「こつこつ小平『もったいない』が根づくまち」の理念のもと、市民の皆様と一緒に“3R”に向けた活動を実施する小平市と、環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』のもとプラスチック対策の一つとしてペットボトル回収機設置を推進するセブン-イレブン・ジャパンが、双方の活動に賛同したことで取り組みが実現いたしました。

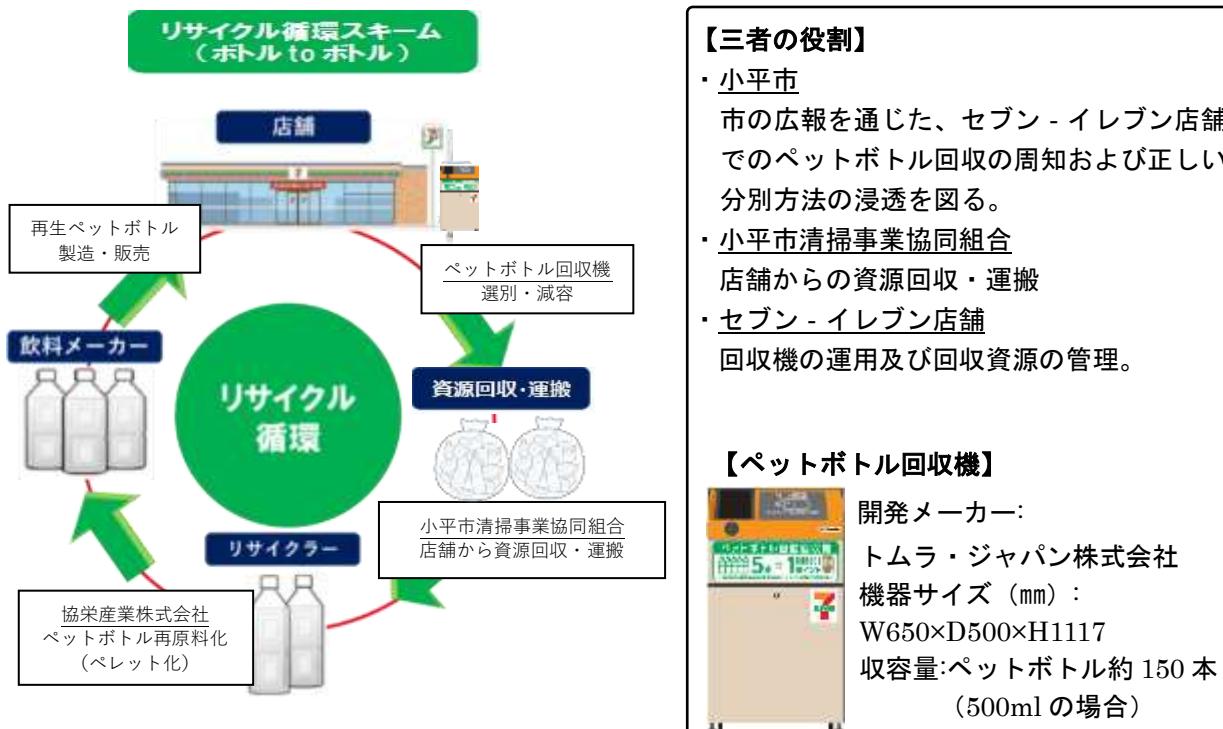
今後、ペットボトル回収を通じてリサイクルを促進し、多摩地域における環境保全に努め、連携を進めてまいります。

*1「ペットボトル回収機」稼働と同日（7月30日）締結

*2ペットボトルを再原料化し、もう一度ペットボトルに戻すこと。

*3回収したペットボトルの収集・運搬は、小平市清掃事業協同組合様のご協力をいただいています。

＜概要＞



＜ご参考＞

セブン-イレブンでは、2017年より店頭への『ペットボトル回収機』の設置を開始し、現在東京都、埼玉県、茨城県、沖縄県内の約369店舗（2020年6月末）で稼働しております。

以上